

第36回定例研究会・シンポジウム

2017年2月19日（日）開催

聴講無料

10:00～16:30

@明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン8階308F教室

第1部

公開シンポジウム
10:10～11:40

平成28年度 明治大学大学院政治経済学研究科
「危機管理行政の研究・実務を担う人材の育成」プログラム
大学院生発表セッション

- ・発表者1：鈴木 翼（北海道庁派遣）
「積雪寒冷地域における冬期の地震・津波を想定した複合災害対策のあり方に関する研究
—冬期地震・津波対策立案のためのチェックリストの提案—」
- ・発表者2：高橋政宏（徳島県庁派遣）
「『公助の限界』を乗り越える『新たな防災』と行政課題
—今改めて「自助・共助・公助」を考える—」
- ・発表者3：酒井佑介（茨城県庁派遣）
「都道府県総合防災訓練の多面的機能に関する考察
—住民意識醸成と地域防災力向上—」

第2部

共催シンポジウム
13:00～14:45

「大都市の地震火災と広域避難問題をめぐって（仮）」

- ・基調講演：関澤 愛（東京理科大学大学院国際火災科学研究科教授）
「首都直下地震時の火災シミュレーションと
その活用の可能性（仮）」
- ・論題報告：中林一樹（明治大学大学院政治経済学研究科特任教授）
「東京における地震火災からの広域避難システムの
現状と課題（仮）」

第3部

定例研究会
15:00～16:30

日本自治体危機管理学会 第36回定例研究会

- ・講演者：佐々木晶二（国土交通省国土交通政策研究所長）
「防災復興法制を知る：巨大災害発生時に、
すぐ実践できる措置と改善が求められる措置」

